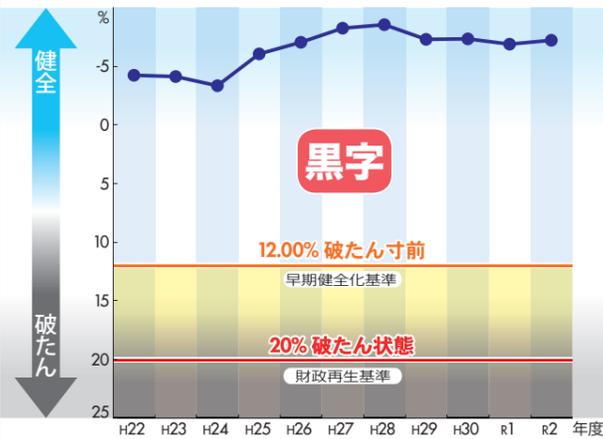


健全化判断比率の状況

市の財政が健全かどうかを表す指標です。令和2年度予算は、4指標全てにおいて良好な水準にあり、健全で余力のある状態を維持しています。

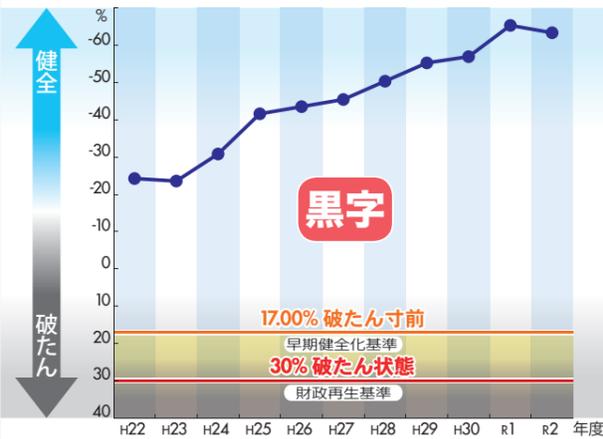
H:平成 R:令和

実質赤字比率



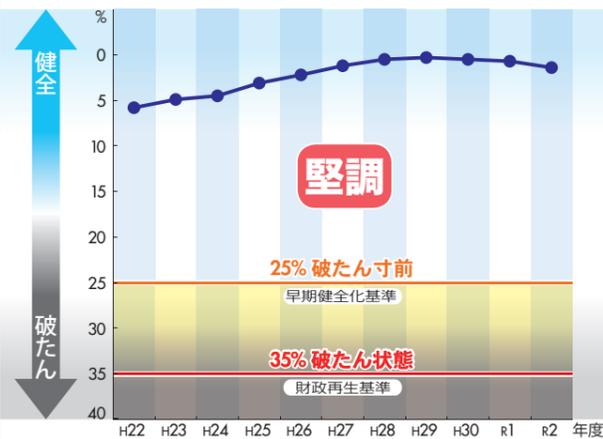
家計に例えると、「年収に対する赤字の割合」を示しています。

連結実質赤字比率



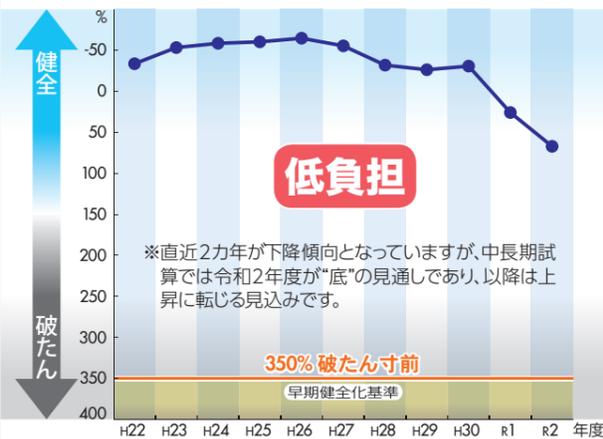
家計に例えると、「同居している家族全員の年収総額に対する赤字総額の割合」を示しています。

実質公債費比率



家計に例えると、「年収に対するその年のローン返済額の割合」を示しています。

将来負担比率



家計に例えると、「年収に対するローン残高など将来支払わなければならない額の割合」を示しています。



図政策推進室 ☎724・6718 ☎724・6971、財政経営室 ☎724・6708 ☎723・2096

予算全体の規模 < > の数値は、前年度との比較を表しています。

一般会計の予算額

639億7000万円<▲88億9000万円、▲12.2%>

北大阪急行線延伸整備の進展により事業費のピークが過ぎたことなどから、予算額は減少しました。

全会計の予算額 (特別会計・企業会計を含む)

1594億9600万円<▲217億4000万円、▲12.0%>

競艇事業会計において、SG競走(グランプリ)の非開催年に当たるため、予算規模が縮小しました。

予算編成概要

令和2年度当初予算は、北大阪急行線延伸整備の進展により事業費のピークが過ぎたことなどから、前年度と比べて12.2%の減となりました。一方、財政の健全性を示す経常収支比率は98.0%となり、12年連続で経常黒字(経常収支比率100%以下)を達成しています。

「安心・支えあい最優先」、「緑・住みやすさ最先端」、「子育てしやすさ日本一」の実現に向けて、子どもから高齢者まで、あらゆる市民のニーズに気を配り、未来に向けた投資を行うメリハリのある予算となっています。防災体制のさらなる充実や、幼稚園・保育園周辺の危険箇所対策、特殊詐欺防止や健康長寿への取り組みなどを進めます。

次代を担う子どもたちに健全な財政を引き継ぎ、将来にわたって箕面市が発展していけるよう、今後も財政規律の堅持と未来への投資の両立をはかっていきます。

新年度の

箕面市の 予算の使いみち

令和2(2020)年度予算は、2月19日から3月27日まで開かれた市議会定例会で審議の上、可決されました。

- ごみ収集、清掃工場の管理運営 など

31,467円



ごみ処理・リサイクル

- 公園施設の管理や修繕
- 道路の維持補修 など

18,317円



公園や道路などの維持管理

- 各種がん検診
- インフルエンザ、肺炎球菌など予防接種
- 子どもの医療費助成 など

24,187円



健康

- 高齢者医療、介護保険制度への助成
- 生涯学習施設の管理運営 など

34,409円



高齢者福祉・生涯学習

- 保育所施設の管理運営
- 民間保育園・認定こども園への運営補助 など

40,467円



保育所・認定こども園

- 小・中学校、幼稚園の管理運営
- 児童・生徒の放課後活動支援 など

35,769円



教育

一般会計予算の市民1人当たりの主な使いみち



新年度の 箕面市の台所事情と予算の使いみち

市の重点施策

I 安心・支えあい 最優先

市民の安全・安心の確保と、地域の支えあいを醸成していく取り組みを進めます



1 防災体制のさらなる充実

- 大規模化する風水害に備え、「市水防整備指針」により進めている全市の水防機能の増強を一気に加速し、未着手の32カ所全ての対策を実施します。「レッドゾーン内人口ゼロ」をめざす市の急傾斜対策においては、残り5カ所中、準避難路や通学路に被害が及ぶ3カ

予算額:5億1288万1000円

●市内にある駅の地下通路や道路アングラーパス4カ所と、市街地とは異なる気象現象が起きやすい止々呂美地域などの要監視ポイント4カ所、計8カ所にネットワークカメラを増設し、局地的な降雨状況をピンポイントかつリアルタイムに把握します。

●災害に不慣れた外国人市民に対して、災害時に正確でタイムリーな情報が提供できるよう、外国語版市民安全メールの配信を開始するとともに、SNSなど外国人コミュニティの中で正確な情報を発信できる「外国人防災リーダー」を養成します。

2 オリピック・パラリンピックへの機運醸成とスポーツ人口の増加

●オリピック・パラリンピックの機運を市民一人ひとりのスポーツの実践行動につなげることをめざして、30代～50代をターゲットに、オリピックで人気の4競技(卓球、バドミントン、バレーボール、

予算額:862万5000円



バスケットボール)の教室と競技大会を開催します。

3 健康長寿をめざす多角的な取り組み

●30代～50代の忙しい世代でも参加しやすいスポーツプログラムを探る「大人のスポーツ・トライアル事業」を継続します。

●健康維持に効果が期待される温水プールを備えた総合水泳・水遊場の整備において、PFI事業者の選定を進めます。

予算額:5億5957万5000円

●高齢者に人気のシニア塾のコースや、体力測定・アンチエイジングセミナーなど、健康への「きつかけづくり」の場を充実させます。



4 将来の消防需要に基づく消防力の保全

●新たな消防拠点(仮称)豊川分署の令和3年春の開署をめざし、整備工事を加速します。

●5t級車両の運転に準中型免許が必要となったことから、消防団の車両更新に当たり普通免許で運転ができる3.5t級車両の導入を開始し、準中型免許取得費用の助成と併せて、消防団への新規入団者への負担軽減をはかります。

予算額:3億3346万1000円

5 きめ細かな安心と暮らしやすさへの取り組み

●特殊詐欺被害の防止対策として、高齢者世帯を中心に自動通話録音装置を10000個配布します。

●市の指定ごみ袋(燃えるごみ専用袋)について、現在の20ℓ・30ℓに加えて、要望の多い40ℓ袋を新設します。

●厚生労働省令の改正により平成31年4月から障害者手帳のカード化が可能になったことを受け、全国で初めてカード化を実施します。

予算額:4億9741万8000円

II 緑・住みやすさ 最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進めます



1 進むまちづくり

●北大阪急行線の延伸工事において、国道171号をまたぐ橋桁の架橋や、地下区間におけるシールドマシンの掘削など、着実に工事を進展します。

予算額:143億6122万1000円

●箕面船場阪大前駅の駅前地区において、令和3年春のオープンに向けて市立文化芸術劇場、市立船場図書館、市立船場生涯学習センターの建設工事を進めます。

●北大阪急行線の新駅へのアクセス道路の整備を加速するとともに、桜井駅前ロータリーの令和3年度オープンに向けて整備工事を進めます。

2 安全な道路環境の整備と保全

●通学路などの歩道改良や安全対策、青い路面標示の自転車レーンの整備などにより着実に通行の安全を守るとともに、道路施設の老朽化対策に万全を期すため、全175本の市管理の橋梁の計画的な点検を実施します。

予算額:2億8056万7000円

3 山麓保全の取り組み

●これまで公益信託で運用してきた「みのお山麓保全ファンド」を、NPO法人みのお山麓保全委員会を通じて直接助成に切り替え、国から交付されている森林環境譲与税を財源に、持続可能なしくみで着実な山麓保全をはかります。

予算額:1700万円



III 子育てしやすさ 日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整えます



1 きめ細かな教育・子育て環境の整備

●学童保育における長期休業中のランチ提供、市立保育所の1・2歳児トイレへのエアコン整備、東図書館の親子交流スペース整備など、きめ細かな教育・子育て環境の整備を進めます。

●大津市の園児交通事故を受け、幼稚園・保育園周辺の危険箇所対策を進めるとともに、キッズゾーンを設定し、通行車両に減速と注意を促す路面標示を行います。

●民間保育園等のお散歩など、園外活動時に保育士とともに園児を見守るスタッフの雇用を支援します。

●保護者や地域の住民が学校活動を支援する「学校ボランティアコーディネーター制度」のモデル校を拡大し、計3校で実施します。

予算額:6億8541万3000円

2 一歩先を行く箕面市の教育

●全小・中学校の全児童生徒(約12300人)に1人1台のタブレットPCを配置します(現在導入済みの小学4年～6年生全員(約4300人)に加え、新たに約8000台を追加導入し、1人1台体制を実現します)。

●外国人英語指導助手(ALT)を2人増員し、全76人の体制を完成させます。中学校は各学年1人、小学校は2学年に1～2人の体制とし、全小・中学校、全学年で毎日英語に触れる取り組みを進めます。



予算額:5億1272万5000円、令和元年度補正予算額:10億4326万円

3 教育分野における各種トライアル事業の継続

●放課後学習における6種類のタブレット学習、塾講師による学習指導や、塾・習い事の費用を助成するなど、さまざまな手法の比較検証を継続し、確実に効果が出せる学習支援策を確立します。

●生徒指導部長や教務部長などの専任教員を加配して学校の組織体制を改変する「パイロット校」「ミニパイロット校」、教員の定型的な事務を他の職種が担うことで教員の負担を軽減する「事務支援員配置校」の取り組みを継続し、効果検証と効果を生み出す要因の分析を深化します。

予算額:1億218万3000円